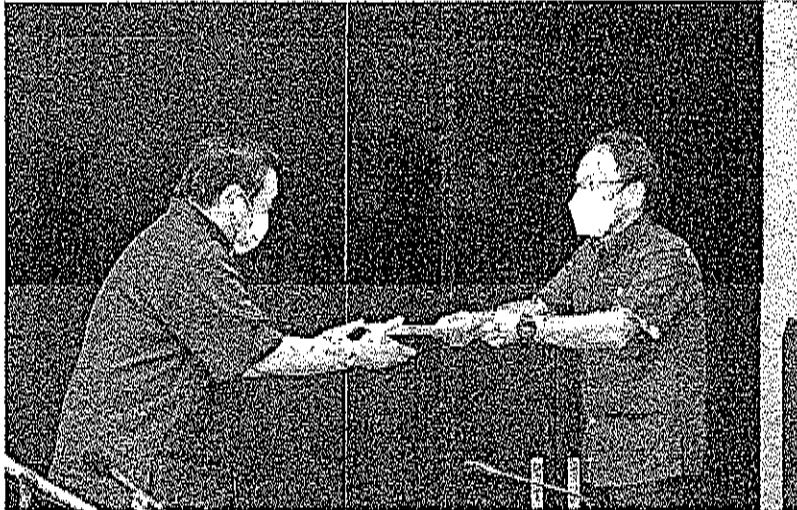


9/29
五九

辺野古断念・対話を

沖縄デニー知事、防衛相に要望



浜田靖一防衛相（左）に要望書を手渡す玉城デニー知事＝28日、沖縄県庁

沖縄県の玉城デニーイの配備撤回や日米地位協定の抜本的改定など過重な基地負担の解消に関する要望書を提出しました。要望書は、過去2回の県知事選、2019年の県民投票で辺野古地をはじめ、オスプレー一年の県民投票で辺野古地をはじめ、オスプレー

新基地反対の圧倒的な民意が示され、さらに新基地の是非が明確な争点となつた今回の知事選で「搖るきない形で反対の民意が繰り返し示された」とほめめで重い」と指摘。「辺野古移設が唯一の解決策」との固定観念とらわれる」となく、「県民の声に真摯（しんし）に耳を傾け、現行移設計画を断念し、問題解決に向けた沖縄県との対話に応じていただきたい」と求めています。

また、デニー知事は南西諸島での緊張激化や自衛隊増強を急頭に「沖縄が77年前のように本土防衛の捨て石になつてはならない。そのためには冷静な外交努力を続けていただ

きたい」と求めました。浜田氏は、「日米同盟の抑止力維持と普天間飛行場の危険性除去の候補が明確に「辺野古容認」を打ち出され、大差で敗北した事

から田舎を賣けました。実から田舎を賣けました。さんがああひまな課題について判断されたものだと発言。自公推